

中遠地域の農業・林業の話題をお届けします！



きらり中遠

ホットニュース

令和3年9月8日 発行（第4号）

* 取組 * 倉沢の棚田で和紅茶作り体験が行われました

菊川市倉沢の棚田は、静岡県棚田等十選に選定されており、NPO法人せんがまち棚田倶楽部や静岡大学棚田研究会が中心となって保全活動を行っています。当地域では、棚田の保全活動を通じ、多様な人々の参加による地域活動が行われており、「千榎の棚田」として、「ふじのくに美しく品格のある邑」に登録されています。

7月3日（土）は棚田の草刈りが予定されていましたが、雨のため中止となり、「和紅茶作り体験」が開催されました。約45分間、茶葉を手もみして水分を抜き、工場では発酵・乾燥させた後、最後には試飲も行いました。子供達からは、「手もみに力が必要で大変だった。」「自分で作った紅茶は味が違う」との声も聞かれ、初めての体験を楽しんだ様子でした。

NPO法人せんがまち棚田倶楽部の堀さんからは、世界農業遺産に認定された「静岡の茶草場農法」の説明もあり、棚田と茶草場の関係や、これらを守ることで多様な生態系が維持されていることを学びました。

10月の稲刈りに向け、8月7日（土）、9月4日（土）に棚田保全のため草刈りも行いました。今後も当所は棚田の保全活動を支援していきます。



（農村整備課）

* 取組 * バイ・シズオカの一環として管内農産物を斡旋しました

地産地消「バイ・シズオカ」の一環として、西部地域局と連携し、管内農産物の斡旋を行いました。磐田財務事務所、西部健康福祉センター、袋井土木事務所、農林技術研究所などに呼びかけ、第3弾では柴田牧場のチーズやヨーグルトなどを255個、JA遠州中央の野菜セットやドリンクセットを52個、所内限定の番外でやぎバラ育種農園のバラのブーケを16個、総額35万円余を販売することができました。

今後も当所は管内生産者を応援、そして地産地消の取組を推進していきます。



（企画経営課）



* 取組 * 豚熱の経口ワクチンを散布しています

当所では、野生イノシシによる豚熱の感染拡大を防止するため、県畜産振興課、市町、猟友会の協力を得て、各地で豚熱の経口ワクチンを散布を行っています。

経口ワクチンは、トウモロコシ粉やパラフィン、ココナッツ油などから成る基質の中に液状ワクチンを含んだアルミニウム包があり、それを摂取させることで豚熱に対する免疫力を向上させています。ワクチン散布は山林や林縁等野生イノシシが出現しやすい場所に行くため、高温による熱中症やマダニ、ヒルなどの害虫などに細心の注意を払いながら作業を行っています。

今後も当所では、経口ワクチンの散布作業を行っていきます。



(地域振興課)

* 取組 * 袋井市浅羽の省力化技術実施圃場の現地視察を行いました。

静岡県稲作研究会は、袋井市浅羽地区の省力化技術実施圃場を現地視察しました。今回、専用播種機、ドローン播種による湛水直播栽培の圃場及び、グレンドリル播種、ドリルシーダー播種による乾田直播栽培圃場の視察を行いました。また、開発メーカーから説明を受けながら、ドローンによる液剤と粒剤の実演散布を行いました。キヒゲンを混合したカルパーコーティング種子でも、鳥害を受けるなど課題はありますが、生育は順調でした。



中遠地域で導入されているドローンは現在 16 件で、今回の学習会に参加した会員は、農薬及び肥料散布以外のドローンの活用方法である直播について非常に興味を持っていました。

今後も当所は、水稻生産者のスマート農業導入を支援していきます。

(生産振興課)

発行：静岡県中遠農林事務所

〒438-8558 静岡県磐田市見付 3599 番 4 号 電話 0538-37-2272 (企画経営課)

E-Mail : nourin-chuen-kikaku@pref.shizuoka.lg.jp URL : <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-760/>